

令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン

(令和2年11月策定)

豪雨災害の科学的・客観的な検証、住民の皆様からの御意見や有識者からの提言等を踏まえ、令和2年11月に、球磨川流域の新たな治水の方向性として、流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」を推進することを表明し、その理念の核として、「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定しました。

復旧・復興プランでは、緑の流域治水を含む5つの取組みの方向性のもと、重点10項目を掲げ、各目標に向かって取組みを推進しています。

5つの取組みの方向性

1 緑の流域治水

生命・財産を守る安全・安心の最大化と
環境への影響の最小化のベストミックス

河川の整備だけでなく、遊水地の活用や森林整備、避難体制の強化を進め、さらに、自然環境との共生を図りながら、国、県、流域市町村、企業、住民が協働し、流域全体の総合力で安全・安心の実現を目指します。



※この図は、流域治水のイメージであり、実際の対策の範囲や位置と一致するものではありません。

2 すまい・コミュニティの創造



3 なりわい(生業)・産業の再生と創出



4 災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり



5 地域の魅力の向上と誇りの回復

